

平成 19 年（2007 年）6 月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書（3 日目）

平成 19 年 6 月 15 日（金）

※1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	金 城 徹 (自民・無所属 連合)	1 総務行政に ついて 2 公園行政に ついて	勤務体制の見直しについて 本市職員の能率的な職務の遂行と長時間労働の解消及び職員の健康管理の観点から、現行の職員の勤務体制を見直して時差出勤の導入を図る考えはないか。それによって超過勤務手当の削減等も期待できると考えるが、当局の見解を伺う (1) 公園の整備・管理体制について 市内の供用開始公園は箇所も面積も増えているが、公園の管理予算は年々減少し、ここ数年間においても約10%以上削減されている。しかしながら、本市の財政状況が好転していく見通しの立たない中であっても、市民からのニーズの高い公園の整備は継続していかなければならないと考える 本市の公園の整備、管理のあり方については、今後見直していくべき時期に来ていると思慮されるが、これについては自治会や民間企業の活用及びPFI等の導入等の検討も積極的に推し進めるべきと私は思うが、当局の見解を伺う (2) 市民等を対象とした記念植樹制度について 制度の要綱が制定されたと聞くがどのような内容になっているのか。特に今年2月の定例会において記念植樹の料金は、市民の利用しやすい額に設定していただきたいと要望したが、どのような料金設定になったのか。他にこの制度の課題等について説明を求める
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

個人質問（3日目） 平成19年6月15日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	多和田 栄子 (社社連合)	1 憲法9条について 2 国民健康保険税について 3 市営団地行政について 4 雇用対策について	1947年に施行された日本国憲法は、戦争をしない、戦力を持たないということで平和憲法と呼ばれ、今日まで60年間戦争もなく暮らしてきた。しかし今、憲法9条が改憲されようとしている。そこで、県都の市長としての見解を伺う (1) 18年度国保会計の決算見込み違いは、なぜ起きたのか (2) 一般会計からの繰入額は被保険者一人当たり817円と11市の中で一番低い。一般会計からの繰入額はなぜ少ないのか (3) 18年度決算では、2億9,000万円余りも黒字決算である。しかし、今年度、市民一世帯当たりの保険税は約5,000円の増額となっているがなぜか (1) 市営団地の目的と意義は何か (2) 市営団地の入居承継の実態はどのようなになっているのか (3) 母子家庭における入居支援及び取り扱いの現状について伺う 県内の次代を担う若者の雇用状況は年々厳しくなり失業率も他県の2倍である。そこで伺う (1) 本市の雇用相談件数は、月何件あり、実態はどうなっているか (2) 失業率は何%になるか (3) 求人情報の提供はどのようなになっているか 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（３日目） 平成 19 年 6 月 15 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	山 川 典 二 (自民・無所属 連合)	1 「一連の全 県 選 挙」につ いて 2 「基幹系業 務システム」 について 3 歴史博物館 について	昨年11月の沖縄県知事選挙、今年4月の参議院議員補欠選挙、7月実施予定の参議院議員選挙について伺う (1) 沖縄県と本市の各選挙における執行費用(予定費用も含む)は幾らになるか (2) 県知事選、参議院補選の有権者数と投票率(沖縄県と本市) (3) 参議院議員補欠選挙の評価と7月実施予定の参議院議員選挙について市長の見解を聞く 来年度4月稼動予定の基幹系業務システムの進捗状況について問う (1) 健康福祉区分関連業務システムについて現状はどうなっているのか。業者選定が終了したとのことだが、選定方法、選定理由、予算額と内容について伺う (2) 住民記録、市税、財務会計等各システムの調達・整備の進捗状況はどうか (3) 基幹系業務システムの構築への基本方針を改めて聞く 歴史博物館が昨年7月8日に開館してまもなく1年になる。現状を伺う (1) 当初の事業目的、入館者数等目標計画は達成されたのか。また、その主な理由は何か。今後はどうなのか問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 11月開館予定の沖縄県立博物館との連携や協力関係はどうなるのか。また、11月開館を記念しての合同開催行事・イベントは企画できないのか聞く 【答弁を求める者】 市長、副市長、選挙管理委員長、関係部長

個人質問（３日目） 平成 19 年 6 月 15 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	山 内 盛 三 (自民・無所属 連合)	1 環境問題について	(1) 環境基本計画について (2) 平成19年度環境月間の取り組みについて (3) 地球温暖化防止国民運動「チームマイナス 6 %」の取り組みについて 6つのアクションの実施内容について (温度調節、水道、車両、商品選択、ごみ、 電気の使用対策) (4) 地域生活環境の取り組みについて 害虫駆除の実施内容、変遷について
		2 地域の安全 対策と環境に ついて	城北小学校グラウンドの環境整備について 城北小学校は少年野球、サッカー等が盛んに行 われており、地域をあげて青少年の健全育成に大 きく貢献している そこで運動場の安全対策、防塵対策、散水対策 等が必要と思うが、その対応について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（３日目） 平成 19 年 6 月 15 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	瀬 長 清 (自民・無所属 連合)	1 農業振興について 2 福祉行政について	ハーブの安定供給を図るため、ハーブセンターの落成式の新聞記事があった。小禄地域のハーブ農家の皆様の生産意欲が高まり、新しい施設の効果に大変期待を寄せている。次のことについて当局へ伺う (1) ハーブ農業の振興に対する那覇市の認識について (2) 今回のハーブセンターの事業概要と那覇市の取り組みについて コムスンの事業指定打ち切りに伴う介護事業利用者への影響について 厚生労働省は訪問介護大手のコムスンが指定申請時に不正による指定申請がなされたとして、介護保険法の規定に基づき、同社の全国の訪問介護事業所のすべての介護サービス事業所において、新規指定及び更新をしてはならない旨通知があった 指定更新を受けられない事業所を利用している利用者への影響が懸念されるが、当局はどのような対応をするか伺う (1) 今回のコムスンの処分を当局として、どのように認識しているか (2) 那覇市におけるコムスンの事業所が何カ所あって、どのようなサービスが提供され、利用者への影響について、どのように考えるか (3) 那覇市として、利用者のサービス利用に不安のないように、どう対応していくか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 小禄支所の 改築について	小禄支所については、建築して34年が経ち、コンクリートの老朽化及び柱内部の腐食に加え、剥離が生ずる等、早急に整備が求められている 今後整備が検討されている宇栄原市営住宅を高層高度化することにより、小禄支所の移転整備について、検討することが必要だと考えるが、当局の見解を求める (1) 宇栄原市営住宅の整備スケジュールについて (2) 小禄支所の建て替えの必要性和宇栄原市営住宅地内での整備検討について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

個人質問（３日目） 平成 19 年 6 月 15 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	渡久地 修 (日本共産党)	1 嘉手納基地でのジェット燃料流出事故について	地下水と北谷浄水場の水源との関係、北谷浄水場から給水を受けている市町村の人口について。また、水源が汚染された場合はどうなるのか。過去の国内外の事例はあるのか。市長及び上下水道事業管理者は安全な水の提供について、どのような責務を負っているか
		2 高齢者の孤独死をなくすために	高齢者の一人暮らしの数と今後の予測、孤独死（一人暮らしで誰にも看取られず死亡し一日以上放置されていた状態）の実態とどのような対策をとっているか 乳酸菌飲料などを届けながら安否確認を行っている自治体では、予算もそんなにかからず、大きな成果を上げていると聞くが、本市でも実施すべきである
		3 平和行政について	沖縄戦を考え、実相を後世に伝えるために、教科書検定問題に関するパネル展を市役所本庁・支所ロビーや公民館、図書館などでも行ったらどうか また、これまで戦争体験を語らないできた市民も、「今語らなければ」と思っている方も出てきていると思う。少なくなった体験者が生きているうちに証言記録を再度聞き取り、まとめる必要があると思うが見解を問う
		4 市有地借地料の減免について	自治会の公民館が市有地を借りて設置している場合は、借地料の減免制度を適用すべきではないか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、関係部長

個人質問（３日目） 平成 19 年 6 月 15 日（金）

順位	氏 名 （会 派 名）	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	久 高 友 弘 （自由民主党）	発掘調査における文化財課の対応	（１） 代表質問で取り上げた祖慶家の骨壺の件に対する当局の対応と、安謝前原358（6号、7号墓）の墓地の所有権確認に対する文化財課及び管財課の対応を再度伺う （２） 文化財課の一市民に対する対応について、教育長及び市長の見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長

個人質問（３日目） 平成 19 年 6 月 15 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	喜舎場 盛 三 (公 明 党)	1 教育行政について	(1) 夜間中学について 本年 2 月 6 日の一般紙に夜間中学「卒業」認定の見出しで、3 年前から那覇市の自主夜間中学「珊瑚舎スコーレ」で学んできた 60、70 代の女性 7 人に対し、県教育庁は中学校の「卒業」を認定することに決めたとあった ① その認定の意味とそこに至った経緯を伺う ② 戦争や戦後の生活苦難のために、就学する機会を失った方々は数万人いると聞いているが、その方々が学習する場を設けることは、本来行政の役割だと思う。当局の見解を伺う (2) 教育サポーター制度について 文部科学省は企業を退職した団塊の世代の人材を教育分野で活用するため、来年度から教育サポーター制度を創設し、各地域や自治体の後押しをしようと計画しているようであるが、本市においては国に先駆けて、教育支援ボランティア事業に取り組んでいる ① 本市の教育サポーター制度の内容と趣旨を伺う ② 学校現場でのその事業への評価を伺う ③ 教職経験はないけれど、子供たちのために働く意欲があり、また優れた知識や技術をもち、かつ、社会経験豊かな人が子供たちとかかわりを持つことは大変意義があると思う。本市の教育サポーター制度をさらに拡大する予定はないか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(3) アレルギー疾患について 住環境や食生活の変化等によりアレルギーをおこしやすい環境になっており、様々な調査でもぜん息やアトピー性皮膚炎、食物アレルギー、眼アレルギーなど様々なアレルギー疾患で悩む人は国民の3分の1を超えているようである 文部科学省は平成16年12月から平成17年2月にかけて全公立小中学校3万6,830校(1,277万人)を対象にアレルギー疾患全般の状況を調査し、その結果を2007年4月に公表している ① 本市における小中学校の子供たちのアレルギー疾患の状況を伺う ② 食物アレルギーに伴う急性症状「アナフィラキシーショック」を経験している子供はどのくらいいるのか伺う。また、過去においてどのような事例があるのか伺う ③ アレルギーのある子供たちへの対応はどのようになっているのか伺う ④ 学校や保育所などで、子供が発作を起こしたときに緊急に措置や対応ができるような統一のルールは策定されているのか伺う (4) 小中学校における健康教育はどのように取り組まれているのか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 福祉行政について	本市における高齢者に対する福祉サービスに軽度生活援助事業がある (1) その事業の目的と内容を伺う (2) 18年度の実績を伺う (3) 高齢者のみの家庭でない場合でも、一緒に暮らしている家族の事情で高齢者の日常生活の援助が必要とされる場合があると思うが、介護型ファミリーサポートセンターのような事業はできないか伺う
			【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長